

## 車いすバスケットボール体験教室 (本田小学校) を実施しました

令和元年10月16日(水)、瑞穂市立本田小学校の児童93名と車いすバスケットボールチーム「岐阜SHINE」6名のメンバーが交流しました。

児童は、「岐阜SHINE」の選手による約15分間のデモンストレーションで、車いす同士の激しいプレーの中、“ガシャン”と激しい音をたて転倒する選手の姿に大変驚いていました。

その後、児童は、車いすバスケット等について学ぶクラス、車いすに乗って進行練習をするクラス、シュート練習をするクラスに分かれました。

車いすバスケット等について学ぶクラスでは、車いすバスケットのルールや車いすのタイヤがなぜ“ハの字”になっているかなど、選手の説明を児童は真剣に聞いていました。車いすに乗って進行練習をするクラスでは、選手と一緒に順番にコートを半周しました。慣れない車いすの扱いに苦戦しながらも、みんな和気あいあいと笑いながら体験していました。



シュート練習をするクラスでは、選手の丁寧な指導を受け、児童はひたむきにシュートを入れようと頑張っていました。シュートが見事に入った時には、拍手喝采となり大いに盛り上がりました。

続いて、10チームに分かれて車いす対抗リレーを実施しました。チームには教頭先生等も加わり、みんなで協力して1位を目指しました。最後になったチームの児童にみんなが「がんばれー！」と声援を送り、とても良い雰囲気となりました。

リレー後、3グループに分かれた児童の中に選手2名を交えた『語る会』では、児童は、事前に用意した質問だけでなく、選手に聞きたいことを何人もの児童が手を挙げて質問をしていました。

最後に、児童が育てた花を各選手に渡して体験教室を終えました。

